

ツリー模様のコースター



デザイン／梶成子 (アトリエ seeds)
パフェプロジェクト大阪

できあがりサイズ 約 11×10.5cm

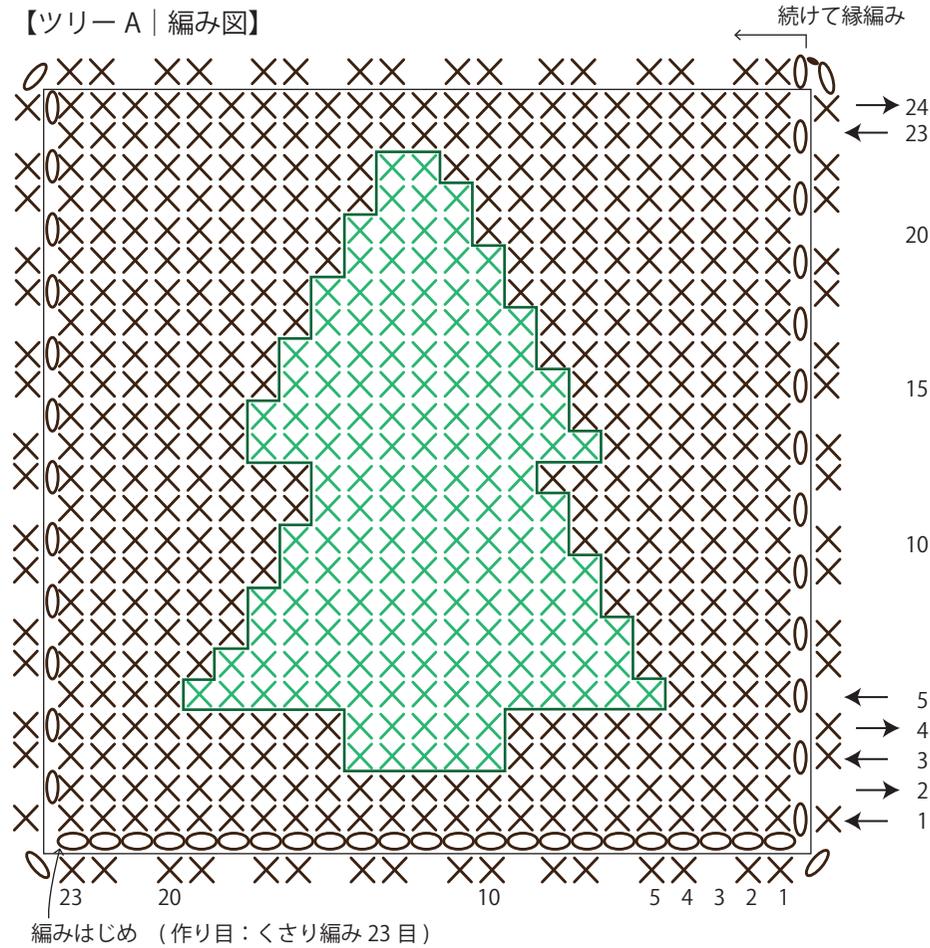
<ツリーAの用具>

- 42-406
- かぎ針「アミュレ」6/0号
- <https://clover.co.jp/products/42406>
- はさみ、とじ針

<ツリーAの材料>

- 並太毛糸
(写真の作品はダルマメリノスタイル並太 使用)
- A 糸：ブラウン (#21)
- B 糸：グリーン (#22)

【ツリー A | 編み図】



<編み目記号>

○ = くさり編み × = 細編み ● = 引き抜き編み

【ツリー A | 作り方】

- ①ブラウンの糸で編み始めます。くさり編みの作り目 23 目、立ち上がりのくさり 1 目編み、裏山を拾いながら編みます。
- ②続けて 2 段目を編みます。
- ③3 段目はブラウンで 8 目編み、9 目めは最後の引き抜きをグリーンで編みます。10～14 目めはブラウンの糸を編みくるみながらグリーンで編み、14 目めは最後の引き抜きをブラウンで編みます。15～23 目めはブラウンで編みます。
※編み込みについては 3 ページにポイント解説があります。
- ④以下、編み図と 3 ページのポイント解説を参照し 24 段目まで編みます。
- ⑤縁編みは本体に続けてブラウンの糸で編みます。



B

<ツリーBの用具>

42-405
かぎ針「アミュレ」5/0号
<https://clover.co.jp/products/42405>

はさみ、とじ針

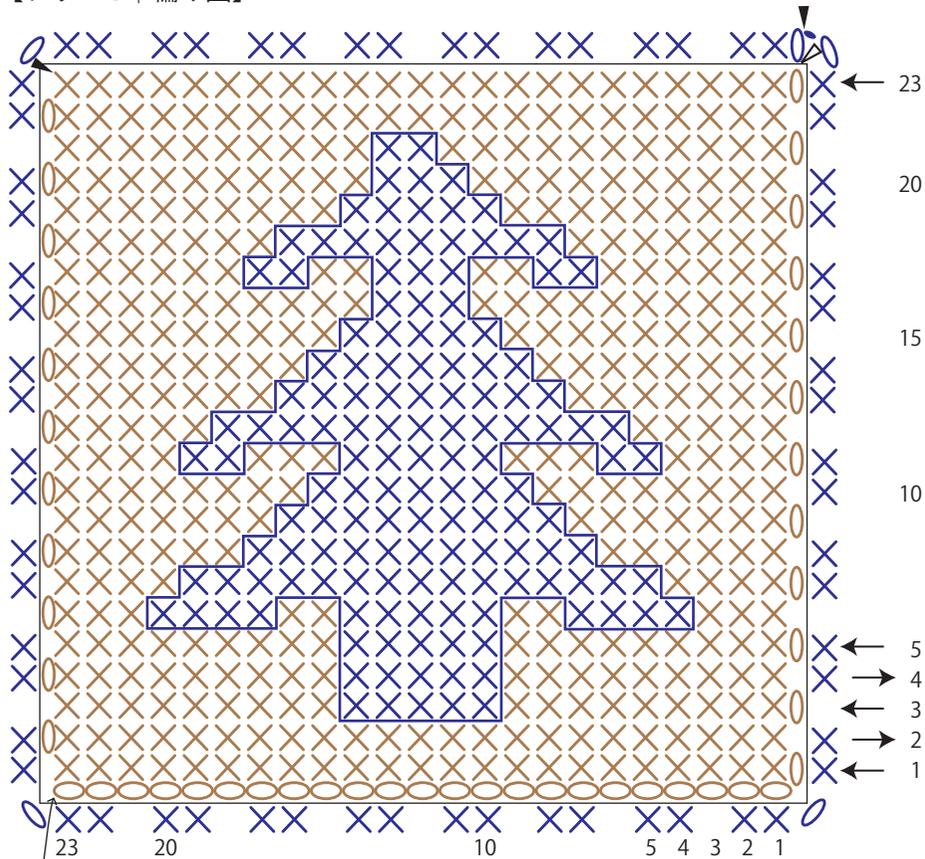
<ツリーBの材料>

並太タイプのコットン糸
(写真の作品はDMCハッピーコットン使用)

A系：ベージュ (#772 サファリ)

B系：ネイビー (#758 スクールデイズ)

【ツリー B | 編み図】



編みはじめ

(作り目：くさり編み 23 目)

【ツリー B | 作り方】

- ①ベージュの糸で編み始めます。くさり編みの作り目 23 目、立ち上がりのくさり 1 目編み、裏山を拾いながら 1 段目を編みます
- ②続けて 2 段目を編みます。
- ③3 段目はベージュで 8 目編み、9 目めは最後の引き抜きをネイビーで編みます。10～14 目はベージュの糸を編みくろみながらネイビーで編みます。14 目めの最後の引き抜きをベージュで編み、15～23 目はベージュで編みます。
- ④以下、編み図と 3～4 ページのポイント解説を参照し 23 段目まで編み、糸を切ります。
- ⑤縁編みはネイビーで編みます。

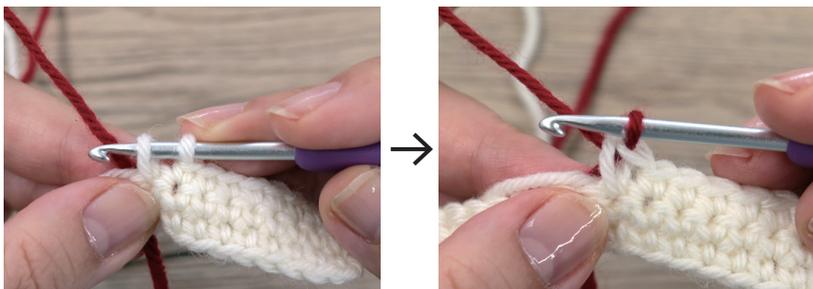
<編み目記号>

○ = くさり編み	X = 細編み	● = 引き抜き編み
▲ = 糸を切る	△ = 糸をつける	

【編み込みポイント解説】

★色の替え方 (A系→B系→A系) ※ここではツリーAの3段目～5段目を例に、A系=白、B系=赤で説明します。

- ①色を替えたい目の1つ前の目の引き抜きで糸を変えます。
(A系→B系)



引き抜いたところ

- ②続けてB系で細編みをします。このときA系を手前に持ち、横に渡して一緒に編みくるみます。



< one point >

3段目の10目めからは、写真のようにB系の糸端も一緒に5目ほど編みくるむと糸始末が不要になります。

- ③編み図に従って再度色替えをします。①と同様に色替えの1つ前の目の引き抜きでA系に替えます。

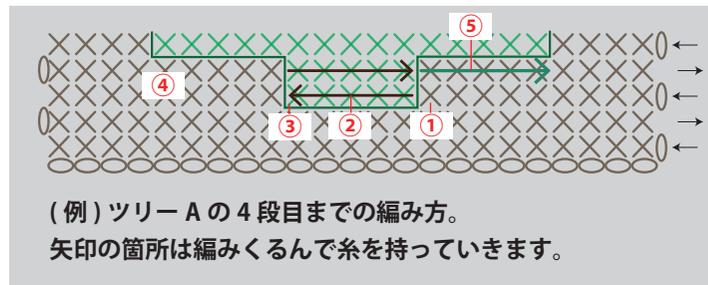


- ④ツリーAの3段目の15～23目・4段目の1～9目はB系を編みくるまずA系のみで編みます(B系は休めておきます)。

今編んでいる段の編み込みの終わりの位置と1つ上の段の編み込みのはじまりの位置が同じ(もしくは近い)場合は、同様にB系は休めておきます。

- ⑤4段目の15目～19目では、B系を編みくるみながらA系で細編みします。19目めまで編めたら、B系は裏に出して休めておきます。

4～5段目の編み込みのように、今編んでいる段の編み込みの終わりの位置と1つ上の段の編み込みのはじまりの位置が離れている場合は、次にB系を使う位置までA系で編みくるみながらB系を持っていきます。次の段では前段で休めているB系を使って編み込みをします。



【ツリー B | 編み込みポイント解説】

★複数回色替えがある段の編み方 (A 糸→B 糸→A 糸→B 糸→A 糸) ※A 糸=白、B 糸=ネイビーで説明します。

基本は 3 ページと同様です。

写真はツリー B の 6 段目を編んでいるところ。

ツリー A では複数回の色替えがある段はありません。

①A 糸で必要な目数分細編みし、最後の目の引き抜きで B 糸に替えます。続けて B 糸で細編みします。このとき A 糸を手前に持ち、横に渡して一緒に編みくるみます。



②B 糸で必要な目数分細編みし、最後の引き抜きで再度 A 糸に替えます。



③①・②と同様に、休ませている糸を編みくるみながら A 糸・B 糸で編み込みします。



④今回の図案では、複数回色替えがある段の B 糸の編み終わりの目と、1 つ上の段の B 糸の編みはじめの目が近いので、最後の A 糸の細編みでは B 糸を編みくるまず、裏に出しておきます。



(例) ツリー B の 6 段目の編み方。

矢印の箇所は編みくるんで糸を持っていきます。

次の段では、④の糸を使って編み込みをします。